

News Release

キャットボンド「Nakama Re 2025-1」の発行について ～地震リスクを証券化 アジア開発銀行の債券を活用した発行としては世界初～

JA共済連（全国共済農業協同組合連合会、代表理事理事長 村山 美彦）は、アジア開発銀行（以下「ADB」）が発行する債券を担保資産として活用する世界初のキャットボンド※「Nakama Re シリーズ 2025-1 クラス 1」（以下、「Nakama Re 2025-1」）を令和7年4月16日（水）に発行しました。

この発行により、JA共済連は国際復興開発銀行（以下「IBRD」）、欧州復興開発銀行（以下「EBRD」）およびADBの各国際機関の債券をキャットボンドの担保資産に活用した世界初のスポンサーとなりました。

※発生する確率は低いが発生した場合の損害規模が大きい巨大災害リスクを証券化し、機関投資家に発行することで、将来の巨大災害発生に備えた資金を調達する仕組み

■Nakama Re 2025-1の概要

<Nakama Re 2025-1>

発行体：Nakama Re Pte. Ltd. スポンサー：JA共済連

発行金額：額面1.00億米ドル（約145億円、1米ドル=145円にて換算）

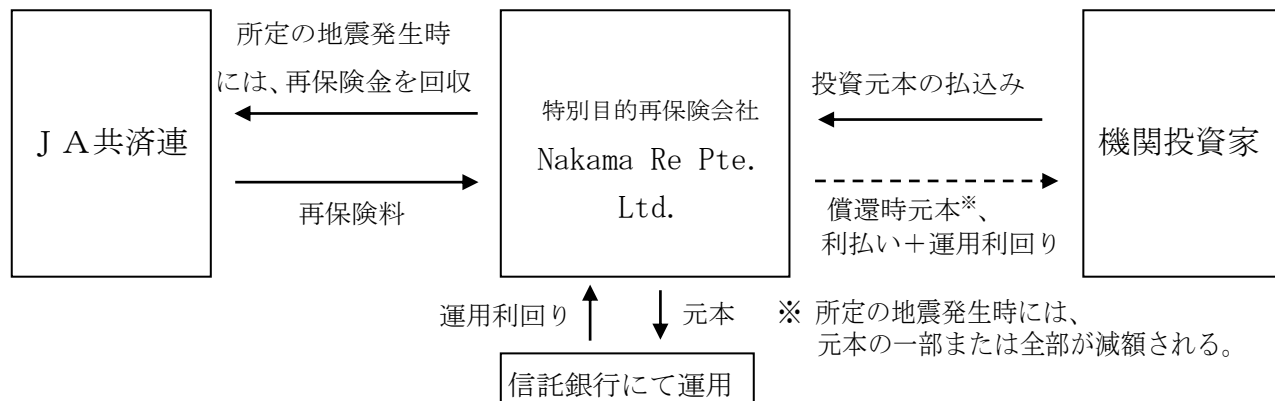
期 間：令和7年4月～令和12年4月（5年満期）

対 象：日本国内の地震 利 回 り：2.10%

本キャットボンド（5年満期、額面1.00億米ドル）は、建物更生共済における将来の巨大地震発生に備えた資金を調達するために、シンガポールの特別目的再保険会社である「Nakama Re Pte. Ltd.」より機関投資家向けに発行しております。

本会は、あらかじめ定めた支払共済金を超過する地震が日本国内で発生した場合に、その超過額に応じて償還予定元本の一部または全部を、特別目的再保険会社「Nakama Re Pte. Ltd.」から本会への支払再保険金として回収し、ご契約者の皆さまに対する支払共済金に充当します。

<スキーム図>



■ADBを活用する背景

本会では、農業と地域社会の持続的発展に貢献するとともに、地域社会を構成する一員としての社会的役割を果たすことを掲げる本会の「サステナビリティ方針」に基づき、運用収益を確保しつつ気候変動をはじめとする社会課題解決への貢献を図るため、E S G投資およびスチュワードシップ活動からなる責任投資に取り組んでいます。

キャットボンドへの投資を行う機関投資家の多くは、スポンサーのSDGsおよび責任投資への取り組みについての関心が高く、本会としても過去の発行において、上記の取り組みを投資家に開示するとともに、実績のあるIBRDやEBRDが発行する債券を担保資産として活用しております。

上記から、今回のキャットボンド発行においては、「極度の貧困を根絶する取り組みを続けながら、豊かでインクルーシブ、災害等のショックに強靱で持続可能なアジア・太平洋地域の実現」を目的とした債券を発行するADBを活用します。

■今回発行するキャットボンドの特徴

日本国が所在し、協力し合いながら共に経済発展をしてきたアジア・太平洋地域にフォーカスした形でのSDGsやESGに貢献するべく、機関投資家より調達した元本を『極度の貧困を根絶する取り組みを続けながら、豊かでインクルーシブ、災害等のショックに強靱で持続可能なアジア・太平洋地域の実現』を目的とするADBが発行する債券にて運用する点が、今回発行するキャットボンドの最大の特徴であり、世界初の取り組みとなります。

<参考>これまでのキャットボンド発行にかかる取組内容

Nakama Re 2023-1※ (令和5年4月)	○ 機関投資家より調達した本キャットボンドの元本は、世界各地のグリーンプロジェクトの支援を行っているEBRDが発行する債券に投資しています。 ○ キャットボンド有効期間中に、JA共済連が実施したESGテーマ型投資の内容について機関投資家に対し適宜情報開示を行いました。	○ JA共済連が実施しているSDGsおよびESG投資への取り組みに関して、機関投資家に向けた情報開示を行いました。
Nakama Re 2024-1 (令和6年4月)	○ 機関投資家より調達した本キャットボンドの元本は、貧困撲滅・持続可能な経済成長等を目的とした途上国支援を行うプロジェクト投資を行うIBRDが発行する債券に投資しています。	

※詳細は、ニュースリリース「キャットボンド「Nakama 2023-1」の発行について」参照

URL : <https://www.ja-kyosai.or.jp/news/2023/20230428.html>

JA共済連では、今後も健全な経営の維持に取り組むことで、組合員・利用者の皆さまの信頼と期待に応え、「安心」と「満足」を提供してまいります。

以 上